

11月16日、大阪労連など労働7団体が「独裁政治ノー」で一致し、共同アピールを記者発表しました。

維新の会の「独裁政治」を許さない行動をおこそう



▲記者会見する(左から)山下恒生大阪全労協副議長、川辺和宏大阪労連議長、園秀樹国労近畿委員長

共同アピールを出した川辺和宏大阪労連議長は、「維新の会代表は自ら『独裁』を宣言し、『君が代』強制条例は府議会でも議論なしに強行可決。『教育基本条例案』もPTAなどから反対の声があがっているのに、選挙で勝てばなんでもできるという独裁政治を労働者の力で待たせたい」と語りました。

山下恒生全労協副議長は、「労働者が立場を超えて共同するのは、それだけ維新の会の独裁を危惧しているからです」、園秀樹国労近畿委員長は、「アピールは多くの労働者の支持が得られると思う」とそれぞれの思いを語りました。

また、宮武正次大阪労連事務局長は、連合大阪に呼びかけたことを明らかにし、多賀雅彦事務局長から「非公式の呼びかけを受け、連合大阪も反独裁、反維新の会の立場で活動しており、今度の政治戦で独裁政治を許さない行動をおこそうという呼びかけとは思っては同じです。反独裁のための具体的行動は、同じ思いでそれぞれおこしていきますましよう」と表明があったことを紹介しました。

組合員のみなさん、働く仲間のみなさん、独裁政治を許さない行動にたちあがりましょう。

庶民の街、大阪に独裁政治はふさわしくない 「維新の会」の独裁政治を許さない 行動をおこしましょう

大阪府も、大阪市も大きな政治戦がたたかわれています。橋下徹氏が代表を務める「大阪維新の会」による独裁政治は、庶民の街大阪にはふさわしくありません。独裁政治が、庶民の暮らしを守ったためしはありません。

私たちは、労働者の暮らしと民主主義を守るために、「独裁政治は断固許さない」ことで一致しました。そして、それぞれの立場で「独裁政治ノー」の行動をおこすことを確認しました。

大阪に働く労働者・労働組合のみなさん。立場の違いを超えて、「独裁政治」反対の声をあげ、暮らしと民主主義を守りましょう。

2011年11月16日

全大阪労働組合総連合	議長	川辺 和宏
全国労働組合連絡協議会大阪府協議会	議長	石田 俊幸
全日本港湾労働組合関西地方本部	執行委員長	佐野 祥和
国鉄労働組合近畿地方本部	執行委員長	園 秀樹
全日本建設運輸連帯労働組合近畿地方本部	執行委員長	垣沼 陽輔
関西マスコミ文化情報労働会議	議長	小本 淳
おおさかユニオンネットワーク	代表	垣沼 陽輔

▲労働団体の共同アピール



おおさか労連

大阪労連のホームページ <http://www.osaka-rouren.gr.jp> E-mail: info@osaka-rouren.gr.jp
全大阪労働組合総連合機関紙

大阪の労働界全体が 立場を超えて一致

第274号(毎月10日発行)
2011年11月19日(部内資料)

発行所 全大阪労働組合総連合
発行人 川辺 和宏
編集人 池村 博
1993年6月22日第三種郵便物認可

大阪労連のホームページ <http://www.osaka-rouren.gr.jp> E-mail: info@osaka-rouren.gr.jp
〒530-0034 大阪市北区鶴町2-2
国分会館1F ☎06-6353-6421